おかざきよろず心のクリニック

発達特性を持つ子どもを全力支援 デイケア参加が学校の出席に認定

発達障害は先天的な脳の発達機能の違いによって、幼児期から行動面や情動面、学習面に問題が生じる状態だ。おかざきよろず心のクリニックを運営する岩崎寿史医師は、「発達障害ではなく、発達特性と呼ぶべき。これをプラスの方面に伸ばしていくことで、子どもたちは自己肯定感を持ち、社会に貢献できる人材に成長できる」と言い切る。

院長
岩崎寿史

1986年東京大学法学部第二類（公法コース）卒業。2003年名古屋大学医学部医学科卒業。2010年より特定医療法人共和会共和病院医局長を務め、2016年「おかざきよろず心のクリニック」開院。

あらゆる年代のあらゆる心の病気を治すため「よろず」と命名

大学卒業後、予備校講師として学生を指導していた岩崎寿史さんは、シュバイツァーへの憧れを捨てきれず大学医学部に再入学。精神科医師としてのスタートをきってからは、児童精神科、心療内科、精神科を専門に、3歳から102歳まで幅広い年代を診察してきた。

「子ども、親、祖父母という全年齢層の心のかかりつけ医になり、発達特性をはじめ、統合失調症、躁うつ病、認知症などあらゆる精神症状に対応したいという思いから院名に『よろず』と入れました」と岩崎寿史医師は微笑む。

同クリニックの患者は小学生が最も多く、中学生、未就学児、高校生、成人と続く。治療では有資格者のカウンセラーが丁寧にカウンセリングを行い、岩崎医師の診断のもとにプランを立てる。

「発達特性を持つ子どもの中には、親や周囲が接し方を変えるだけで投薬は不要、というケースも少なくありません。当院には看護師、心理士、精神保健福祉士、作業療法士、言語聴覚士が在籍しており、チーム医療を実践して、様々な面からアプローチしています」（岩崎医師）

デイケアとナイトケアで子どもの個性や得意分野を伸ばす

同院の治療法の特徴的なプログラムは、小学生から20歳未満までの若者を主にサポートする児童思春期に特化したデイケアとナイトケアだ。

デイケアは朝9時から15時まで開講。発達特性を持つ子どもたちがスタッフと一緒に勉強やさまざまなレクリエーション、作業活動などを実施している。

「回復を目指すリハビリテーションではなく、元々持っている能力を伸ばす『ハビリテーション』を意識して行っています」とは堀倫之副院長。

このデイケアは岡崎市教育委員会から認められて、デイケアへの参加が学校の出席にカウントされている。さらに2022年には愛知県教育委員会からも同様の認定を受け、市内だけでなく、豊田市など近隣の市町村から同クリニックのデイケアに通う子どもも増えている。

もう一つのナイトケアは、宿題、テスト対策、学び直しなどの学習支援を中心にしている。単に学力を上げることが目的ではなく、主体的に習慣として勉強に取り組み、楽しく学び続ける力の養成を目指している。

「発達特性を持つ子どもは、本人も親もそれを否定的に捉えてしまいます。そこで私たちは親から子どもへの『褒め言葉シャワー』を勧めています。そうするとやがて子どもたちもこれでいいんだと肯定的になる。算数や音楽、絵画など特定の分野に強くこだわる子どもが多いので、その能力を磨いて社会に巣立つことを願っています。そのための支援なら、どんな努力も惜しみません」と、岩崎医師は温かい眼差しで語った。

クリニックの2階には、小学生、中学生、高校生を主な対象とした児童思春期デイケア・ナイトケアがある。

スタッフがヒット曲を歌い、その歌詞に出てくる言葉が書かれたカードを拾って、枚数を競う「音楽カルタ」。笑顔が絶えない、人気のレクリエーションだ。

医師、看護師、心理士、作業療法士などのスタッフのほか、近隣の大学生が勉強やレクリエーション、作業活動をサポート。

児童精神科・心療内科・精神科
おかざきよろず心のクリニック
〒444-0875
愛知県岡崎市竜美西2-1-17
TEL.0564-64-6616
https://okazaki-yorozu-kokoro.com/

AD